

第55回 令和7年7月2日（水）

「楽しいことと嬉しいこと。」

この日誌を見ている中学生もいるかもしれないので、この話を載せておきます。

みなさんは「楽しい」と「うれしい」ことの違いがわかりますか？

「楽しいこと」の漢字は「らく」ですね。

ショッピングをしたり、カラオケで歌ったり、SNSで動画を見たり。どれも楽しいし、大変な思いをすることはほとんどありません。

でも1週間して「あの日何をしたっけ？」と考えた時、忘れていることがほとんどです。高校時代このような過ごし方をして「ああ、高校時代は楽しかったな」と思うかもしれませんが、それではいつ、何が楽しかったのか。はっきり思い出せないことが多いのではないのでしょうか。

一方の「うれしいこと」。これは一生懸命やってきたことが報われたときや、チームが勝利したとき感じる思いです。

「うれしさ」を感じるまでにはたくさん辛いことも乗り越えなくてははいけません。でも涙が出るほどうれしかった思い出は一生消えません。またそれを分かち合った仲間とは何十年たってもそのことで語り合うことができるでしょう。

前回の大会で野球部の公式戦にはスタンドに多くのOBたちが観に来ていました。みんな自分たちの苦しかった思いを共有しながら、現役の生徒たちと「うれしさ」を分かち合いたいという気持ちがあるのではないのでしょうか。

中学生の皆さん、川和高校には「らく」な「楽しさ」よりも、努力を重ねた「うれしさ」がたくさんあります。

一生の宝物になる「うれしさ」をたくさん手に入れたいと思っている人は、勉強を頑張って川和高校に入学してください。

入学できたときに最初の「うれしい」を感じることができると思います。そして卒業までにその何倍もの「うれしさ」を味わうことができるはずです。